

授業科目	教育実習Ⅲ			単位	2			
履 修	選択	関連資格	幼二種免		ナンバリング	CH31604J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	阿南 寿美子、村上 里絵、末寄 雅美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>幼稚園教諭となるための総仕上げとして、「教育実習 1」(1年後期)、「教育実習 2」(2年前期)で学んだことや反省点を踏まえ、各自が希望する幼稚園において実習を行う。幼稚園教諭に求められる様々な職務を体験し、保育についての理解を深め、実習園での体験や実務家による指導を通して、幼稚園教諭に求められる実践的な知識や技術を習得する。また、幼稚園教諭に求められる資質や能力を理解し、身につける努力をする。さらに、それらの体験をもとに、幼稚園教諭となるための自らの課題を明確にする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習園において観察実習に基づいて、参加実習を担当することができる。 2. 指導案を作成し、部分実習や一日実習を担当することができる。 3. 実習園における各種の行事や幼稚園教諭の職務を体験的に理解できる。 4. 実習園における毎日の保育について記録にまとめ考察することができる。 5. 実習体験をもとに総合的考察を行い、自らの今後の課題をまとめることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	40	60	100	
知識・理解 (DP1-1)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-2)					4	6	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					4	6	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					4	6	10	
関心・意欲 (DP3-2)					4	6	10	
態度 (DP4-1)					4	6	10	
態度 (DP4-2)					4	6	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-2)					4	6	10	
技能・表現 (DP5-3)					4	6	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子ども同士のつながりや遊び場面に応じた子どもへの働きかけを行うことができる。一日の流れを考えた保育を実践し、自らの保育を省察することによって課題を明確にし、翌日の実践に活かすことができる。				子どもの言動をもとに、その子どもの中にある気持ちを推察し受容的に働きかけることができる。保育者の援助や保育を自らの保育の参考にし実践することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	9月下旬から10月上旬の2週間(10日間)、附属園や出身園、その他学生自身が希望した幼稚園で教育実習を行う。原則として、実習園は「教育実習1」と同じ園で行うものとする。			
2	実習前には、実習効果をより高めるため、保育科及び実習園でのオリエンテーションを受ける。			
3	実習中は、観察・参加・部分・全日実習のすべてを実習園の事情に応じて可能な限り体験する。また、保育者の求められる様々な職務も実習園の事情に応じて可能な範囲で体験する。			
4	実習後には、実習園による評価および実習日誌をもとに、担当教員による個別指導を受ける。			
5	<p>1. 学科および幼稚園での事前オリエンテーション (本学附属園、出身園など、各学生が希望する幼稚園で実施。原則として教育実習と同じ園とする)</p> <p>2. 幼稚園での実習</p> <p>A) 観察・参加・部分・全日実習の全てを実習園の事情に応じて可能な限り体験する</p> <p>B) 保育者の求められる様々な職務も実習園の事情に応じて可能範囲で体験する</p> <p>3. A)実習園による評価および実習日誌を基に、担当教員による個別指導を受ける(教育実習指導の一部)</p> <p>B)実習体験を振り返り、幼稚園教諭の職務や役割を明確にする</p> <p>C)「教育実習2</p>			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「教育実習 2」の単位取得者であり、「教育実習 2」の事後指導及び「教育実習 3」の事前指導を受講するとともに実習要件を満たしている者。			
テキスト	文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 幼保連携型認定こども園保育・教育要領解説(フレーベル館)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「教育実習 3 手引き」他随時配布資料			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	「教育実習指導」の学習内容、1年および2年前期で履修した講義や演習、「教育実習 1」、「教育実習 2」、「保育所実習」、「施設実習」を顧みて、そこで学んだ知識や技術、自らの課題等を「教育実習 3」に生かすような準備をしてください。実習後は、自らの今後の課題をもとに、幼稚園教諭となるために必要な知識・技術のさらなる習得に努めてください。 決められた教育実習指導を受講していない場合には、実習を延期することもありますので注意してください。成長・発達過程の子どもたちと出会うという自覚を持って、各自、実習に備えて万全の準備をしてください。			
達成度評価に関するコメント	関連レポート、提出資料などについては「教育実習指導」授業内で指示します。 その他については、実習の意欲・態度、実習の態度、協調性、幼稚園に対する理解、子どもに対する理解、知識と技能、保育のまとめと自己課題を基に総合的に評価します。 実習指導の指導内容が守られなかった場合は、実習中の実習停止もしくは実習が終了している場合でも単位認定ができないことがあります。			